

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年														2020年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日	2月 ~9日	2月 ~16日	2月 ~23日	3月 ~1日	3月 ~8日	3月 ~15日	3月 ~22日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	23	26	18	17	7	3	9	12	18	16	8	10	12	6	8	13	11
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	3	12	5	10	9	0	9	9	4	7	8	9	10	9	5	9	9
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	7	2	1	0	3	0	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	7	4	6	4	5	0	4	2	0	4	7	4	5	2	4	3	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	1	3	0	3	3	2	1	2	5	3	4	2	2	4	1	6	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	0	1	6	8	4	0	5	3	2	3	9	2	0	3	2	0	1

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第12週(3月16日~3月22日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7		1			2	3	1
三類	2	パラチフス	1					1		
		腸管出血性大腸菌感染症	1						1	
四類	0	発生なし	0							
五類全数	8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		梅毒	1						1	
		破傷風	1	1						
		百日咳	3					3		
指定	2	新型コロナウイルス感染症	2			2				

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
 東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. 新型コロナウイルス感染症

広島県尾道市で渡航歴のある新型コロナウイルス感染症患者2件の発生が報告されました。
 海外への渡航に際しては、各国・地域における新型コロナウイルスの感染状況や感染症危険情報、入国制限措置等の情報を確認しましょう。

2. 百日咳

3件の報告があり、今年の累計は26件となりました。
 百日咳は、7～10日程度の潜伏期間を経て、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。短い咳が連続的に起こり、続いて、息を吸う時に笛の音のようなヒューという音が出る発作を繰り返す特徴的な症状がみられます。肺炎や脳症などを合併することもあり、特に生後6か月未満の乳児は重症化するリスクが高く、注意が必要です。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	15	0.42	4.67	↓	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.44	
	咽頭結膜熱	5	0.22	0.34			RSウイルス感染症	3	0.13	0.29	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	1.04	2.40	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	55	2.39	7.24	↘		流行性角結膜炎	2	0.25	0.35	
	水痘	10	0.43	0.29		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.19			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	7	0.30	0.19			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	突発性発しん	2	0.09	0.29			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	1.46	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	28	女性(30歳代)、男性(80歳代)
3	パラチフス	1	1	女性(30歳代)・推定感染地域: 国外
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	9	男性(40歳代)、男性(70歳代)
5	百日咳	3	26	男性(10歳未満)・2人、女性(10歳代)・1人

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(40.0) 鼻炎	3	男	2020/02/11	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
無菌性髄膜炎	発熱(38.0) 嘔吐 髄膜炎	11	女	2019/11/10	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス30型
その他の呼吸器疾患	肺炎	0	男	2020/02/08	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱 紅斑 咽頭炎	4	女	2020/02/15	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患	血便 腹痛	0	女	2019/11/11	糞便	ハレコウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載